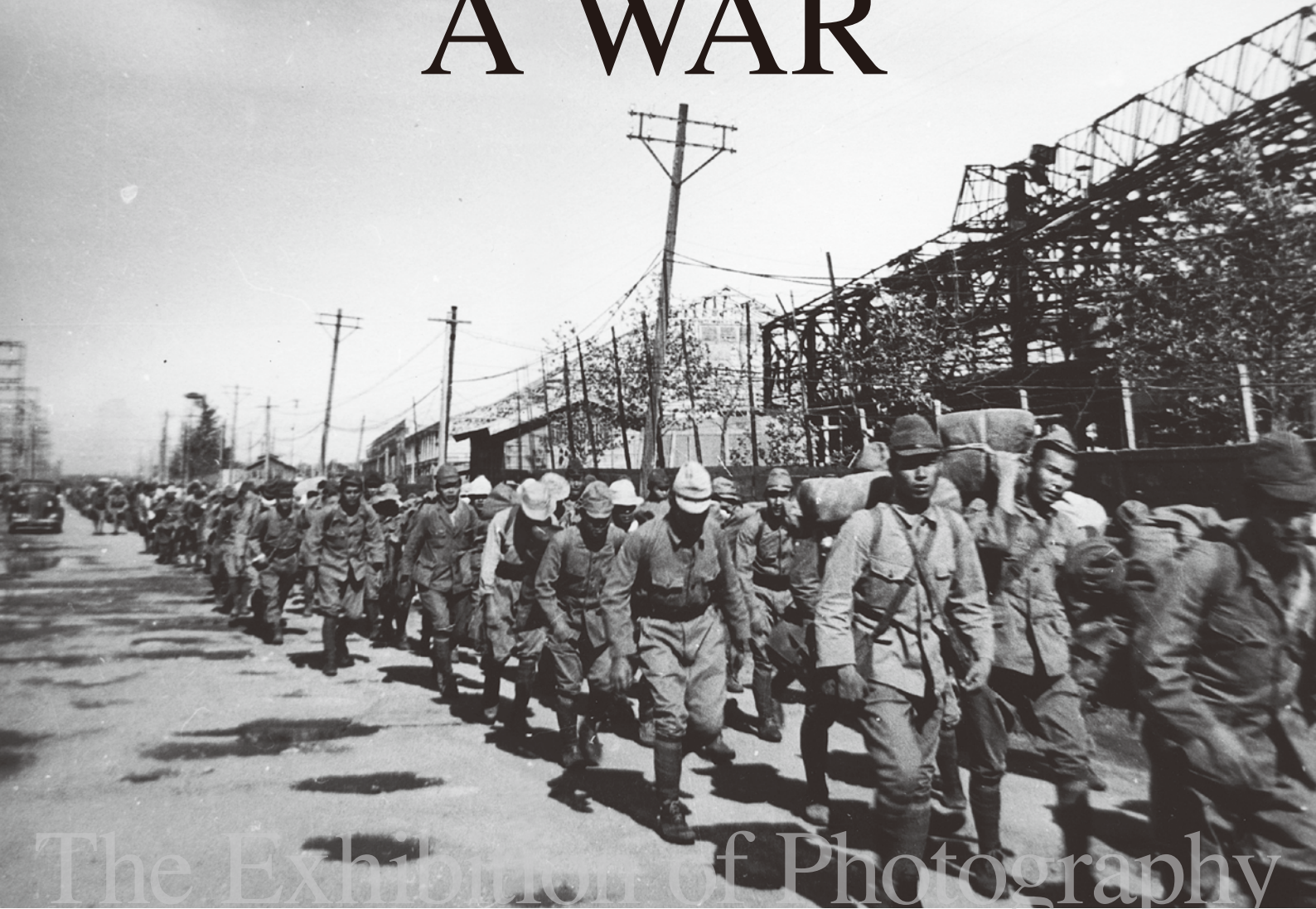


# ONCE THERE WAS A WAR



The Exhibition of Photography

## アメリカの一女性“アネットさん”が見た 戦後日本～復興への道～

2015  
8月11日(火)～16日(日)  
9:00～18:00

まなび広場にいみ ギャラリー  
新見市新見123-2 tel.0867-72-6110



2015  
9月13日(日)～29日(火)  
10:00～17:00

勝山文化往来館ひしお ギャラリー2F  
真庭市勝山162-3 tel.0867-44-5880

| 写真展 | 入場無料 |

主催|新見市国際交流協会 NPO法人勝山・町並み委員会

後援|新見市、真庭市、新見市教育委員会、真庭市教育委員会、新見公立大学・短期大学、山陽新聞社、備北民報社、備北新聞社、真庭タイムス、にいみiチャンネル、真庭いきいきテレビ  
お問合せ|新見市国際交流協会 〒718-8501 岡山県新見市新見310-3 tel. 0867-72-6204

Special Thanks|Aaron Cohen

# ONCE THERE WAS A WAR



戦後日本へ復興への道へ  
アメリカの「女性」アネットさんが見た

かつて戦争があった

## 「占領下の日本 (1946年4月～1947年5月)」

私は、ワシントンD.C.で仕事をしていましたが、冒険の野心から職を捨てて、米軍占領下の日本に行きました。東京での8週間のオリエンテーションを終え、名古屋の第5空軍に配属されました。その名古屋で、私は生涯にわたる趣味となった写真撮影を始めました。

最初の数カ月間は、いろいろなカメラを借りて写真を撮っていました。このようにして撮影された写真のネガはサイズがまちまちでした。後日、ついにハーフフレームの35ミリのネガに撮影できるマッキューリ社製の自分のカメラを購入することができました。

毎週末、友人たちと、名古屋周辺の田舎に出かけて行きました。当初、田畑で働いていた人たちは、ジープに乗ってやってくるアメリカ人たちを恐れていました。しかし、時間がたつにつれて、だんだんと緊張しないようになるのがわかりました。(田畑で働いている人たちの写真には、私たちの存在を認めるのを怖がっていた人たちも写っています。) 町に住んでいる人たちからは、写真を撮っていると反応があることが多かったです。純粋な好奇心から反応する人もいれば、親しくならうとしてくれる人もいました。

日本滞在後、ニューヨークシティでの4年の仕事を経て、夫と二人の娘とともに私の生まれ育った故郷の家に帰ってきました。そこで、永年、旅館を営みました。

引退後、私は日本で撮影した写真のネガを見つけ、経年によって痛みすぎているものを現像し始めました。それらの写真は、私たちが時の流れの中で再び見ることができない瞬間をとらえています。

現在、98歳となりましたが、私は日本で過ごした日々をはっきりと覚えています。また、当時の人々や場所に対して、大いに感謝の意を抱えています。今回、私の写真が、撮影された日本で展示されることを知り、誠に光栄に思っております。

Annette Chait Finestone  
2015年5月

## 「新見市とニューパルツ・ヴィレッジとの国際姉妹都市間写真交流について」

新見市国際交流協会アメリカ班では、新見市のアメリカ合衆国内の姉妹都市ニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジ(The Village of New Paltz, New York)と様々な形での交流を継続して行っています。そのうちの一つが、写真交流です。

これまでは、2008年から2009年にかけて、新見市とお隣の真庭市において、トミコ・コーエン写真展「We Have a Dream! ～ある日本人女性ジャーナリストが見た黒人世界～」を開催しました。現在ニューパルツ在住の日本人元ジャーナリストのトミコ・コーエンさんが1960年代のアメリカの公民権運動取材の際に撮影した貴重な写真を、当時就任した初の黒人米大統領バラク・オバマ大統領の就任に合わせて展示したものです。

また、私たち新見市国際交流協会からは、「Every Now and Then in Niimi」(新見の過去と現在)と題して、新見の古い写真とそれに関連する現代の写真をセットにして解説とともに送りました。その写真は、ニューパルツの中心部にあるエルティング図書館に展示され、市民たちにも好評でした。

第2次世界大戦後70周年となる2015年、戦後の米軍占領下の日本の様子を記録した写真を、撮影者であるアネット・ファインストーンさんとそのご家族、ご友人の方々の協力のもと送っていただきました。これらの写真が、それをご覧になる皆さんの心に様々なことを想起させるものと確信しております。そして、70年前にはお互いに戦争相手国であった日米両国間の平和的姉妹都市交流により、この写真展が実現できるという平和の恩恵にも思いをはせていただきたいと思います。

新見市国際交流協会アメリカ班 班長  
新見公立大学 教授  
山内 圭